浜松市楽器博物館 イブニングサロンコンサート

I'll Be Home For Christmas

アイル・ビー・ホーム・フォー・クリスマス

2016. 12. 14(水) 7:00 p.m

楽器博物館 天空ホール

Stars Fell on Alabama*

[Frank Perkins / Mitchell Parish]

Vocal

Asami Suzuki

Piano

Jun-ichi Fujimori

Stardust

[Hoagy Carmichael / Mitchell Parish]

Santa Claus is Coming to Town

[John Frederick Coots / Haven Gillespie]

The Christmas Song

[Mel Tormé / Bob Wells]

Bass

Tatsumi Suzuki

Drums

Atsushi Hoshiai

Bye Bye Blackbird

[Ray Henderson / Mort Dixon]

Maybe a Christmas Song*

[Jun-ichi Fujimori]

God Bless the Child

[Billie Holiday / Arthur Herzog, Jr.]

Merry Christmas, Baby

[Lou Baxter / Johnny Moore]

Smile

[Charles Chaplin / J. Turner, G. Parsons]

* = piano trio

I'll be Home for Christmas

[Walter Kent / Kim Gannon]

You'd be So Nice to Come Home to

[Cole Porter]

鈴木麻美 すずき あさみ (ヴォーカル)

浜松市出身。高校時代より多くのバンド活動を経て 1999 年よりジャズ歌手としても活動開始。美山夏蓉子氏に師事。日本語オリジナル曲 (+α) を演奏するデュオ「Jazz Dialogue」、ピアノトリオでのジャズ「Pudding a la Mode」、ダンサーとの洗練パフォーマンスと独自のアレンジが特色のエレキバンド「TAMA3」など多彩な活動を続ける傍ら、多くのジャズミュージシャンとの共演も重ねている。2015 年 3 月、Jazz Dialogue として初のオリジナルアルバム「Jazzy」をリリース。東京、名古屋にも活動の範囲を広げている。毎月第4金曜日に JAZZ SPOT analog. にレギュラー出演中。

藤森潤一 ふじもり じゅんいち (ピアノ)

クラシックピアノを3歳の頃から習い始め、大学在学中にジャズピアニスト故・本田竹広に師事。同時期にブラジル音楽を吉田和雄、ニューミュージックを南佳孝、フュージョンを廣木光一らとの演奏を通じ音楽の幅を広げ、アレンジ、作曲なども行なう。現在は母校の早稲田大学の表現工学科で講師を務める傍ら、浜松、東京、名古屋で演奏活動をしている。Wacoony (Music) Design を主宰し、音楽を楽しむ人が Jazz をより深く楽しめるようになるためのワークショップも企画・開催。

鈴木辰美 すずき たつみ (ベース)

昭和 31 年浜松に生まれる。その後、赤ちゃんコンクールで見事入賞を果たす。以後その健康な体と幼児体型を維持している。20歳の頃からジャズベースを始める。ビッグバンドや様々な形態のコンボグループで研鑽を積む。また、地元オーケストラに参加し、活動の場を広げている。

星合厚 ほしあい あつし (ドラム)

小学1年より音楽教室専門コースに入るが、ピアノのテクニックと作曲に行き詰まりを感じて3年生で中退。その頃から電子工作に興味を持ち始め、中学3年でプログレッシブ・ロックに目覚め、高校1年よりドラムを始める。大学では軽音楽部に入りジャズを始める。卒業後は大阪で電子楽器メーカーに就職し、夜はライブハウスに出没する生活をしながらドラムを続ける。2001年、浜松に転勤となり、演奏の機会が増え現在に至る。